

アタリが多くて楽しめる！ 東京湾の人気根魚カサゴ安定

逆子

★東京湾のカサゴは周年狙えるが、これから梅雨にかけてがベストシーズン



▲良型になると引きも強い
◀数釣るうちに20センチオーバーが交じってくる



▲根掛かりに注意しながら釣ってこよう
◀だれでも簡単に釣れるのがいいところ

▶18センチ前後が多い
▶慣れた人は1束近く釣ることもある
▼ダブルもあった



◀仕掛けは胴つき2本バリ。オモリは20号と30号を使い分ける



▲本牧沖の堤防際など根の荒いポイントを狙う

ゴールデンウィークにおすすめの手軽なターゲットが東京湾のカサゴ。金沢八景の新修丸では周年カサゴ専門で出船しており、ビギナーからベテランまで幅広い人気がある。
目下のところ釣り場は本牧沖の水深15〜20メートル前後が中心で、14〜26センチ級をトップで40〜60尾前後と安定して釣れている。
この釣りに根掛かりは付き物だが、釣り方自体は難しくなく、アタリも多いので船釣り初心者にもおすすめだ。(詳細は54ページ参照)

ゴリはカサゴの大好物!?

新修丸では付けエサにサバの切り身とゴリの2種類を用意している。ゴリはスーパーなどの鮮魚売り場ではほぼ見かけないが、和名ではなく小魚(とくにハゼ科の小魚)一般を指す俗称だ。

4センチほどのゴリの付け方は、下アゴからハリを刺して上アゴへ抜く。あまり太軸のハリだと頭が潰れてしまうが、新修丸の船宿仕掛けに使われている細地ムツバリはゴリを使うのにちょうどいい太さだ。

▶エサ付けの組み合わせをあれこれ試してみたい



ゴリはカサゴにとってのご馳走のようで、この日は下バリにゴリとサバの切り身を代わる代わる付け替えながら釣ったが、ゴリのほうが格段に食いがよく感じた。



◎東京湾奥金沢八景・新修丸 新明 正義船長